

日本フンボルト協会 2022年度第4回常務理事会 議事録

日時：2023年3月18日（土）14時から15時50分まで

開催形式：オンライン会議

出席者：伊藤理事長、縣副理事長、居城先生（北海道支部長）、岡林先生、
坂越先生（中四国支部長）、櫻田先生、高橋宗五先生、高山先生、高橋義人先生、
種村先生、西土先生、広渡先生、伏木先生、関映子（事務局）

【審議事項】

（1）2023年度総会について

事務局より、下記のとおり2023年度総会について説明があり、審議の結果、以下の要領で開催されること、また会場等については引き続き調整することが承認された。

- 日時：6月10日（土）
- 形態：ハイブリッドで開催予定
- 会場：DAAD事務所内またはOAG会議室（4階）での開催を検討中
- プログラム
 - ・常務理事・理事会合同会議 13:15 - 14:00
 - ・会員事務協議 14:00 - 14:50
 - ・講演会（合田圭介会員が講師） 15:00 - 16:00
 - ・新理事会 16:00 - 16:15
 - ・懇親会 16:30 - 18:00

（2）留学説明会開催（3月25日（土））について

- 高山常務理事より、下記のとおり、留学説明会について説明があった。
 - ・説明会の登録者は190名程度。フンボルト奨学金説明会希望者数は昨年並。
 - ・DAADの分科会希望者が3分の1。
 - ・14時45分から全体説明会、16時からは人文学、社会科学、理工学、生命科学、医学、DAADの各専門別分科会に分かれて、具体的な説明、質疑応答が行われる。
- 高山常務理事より、全体説明会の録画・公開の可否、及び録画・公開を可とする場合、DAADとの一括公開の可否について、審議依頼があり、審議の結果、承認された。
- 支部企画としての留学説明会を開催する場合、本部企画の留学説明会参加者の情報（個人名、メールアドレスなど）を、個人情報管理を厳重に行う前提で有効に活用したい旨の要望が出され、まずは、留学生説明会担当スタッフで検討し、その結果を受けて、常務理事会で方向性を出すことになった。

（3）日独共同研究奨学金（2023年度）について

事務局より、応募状況について報告があり、申請状況によっては、今月末の締め切りを延長する、また今後、申請数を増やす具体的方策について、引き続き検討することになった。

（4）役員改選について

資料1に基づき、各支部長から次期役員候補者についての提案があった。これを踏まえ、改めて本部で総合的に判断し、本部から個別に役員留任の依頼をすることが了承された。

(5) 2022年度の会計収支について

- 高橋宗五理事より、資料2に基づき、2022年度の会計収支について報告があり、審議の結果、承認された。
- 事務局より、年会費未納状況について説明があり、年会費長期未納者の対応について引き続き検討し、本部から常務理事会に原案を提案することになった。

(6) 支部活動報告と次年度の予定

各支部長より、支部活動報告と次年度の予定について、下記のとおり説明があった。

- 北海道支部
 - ・留学説明会について関係機関に周知
 - ・今後、北海道支部の個別留学説明会の開催を計画
 - ・Prof. Dr. David Wolff先生のZoom講演会(7月8日開催)について依頼
 - ・2023年2月27日支部総会
 - ・2023年9月24日に支部講演会開催を計画
- 東北支部
 - ・来年度、支部総会開催を計画
- 関東甲信越支部
 - ・2022年5月25日幹事会開催
 - ・2023年1月29日幹事会開催
 - ・2023年3月11日2022年度総会をオンラインで開催
 - * 役員人事について：支部幹事、支部顧問及び監事の人事について承認
 - * 関東甲信越支部HP更新のため、(<https://hgj-kanto.com/>)への投稿を募集することにした
 - ・2023年3月11日総会後に、講演会を開催した
 - 講演者：Philipp Osten 会員(慶應義塾大学法学部教授)
 - 講演題：「ウクライナ戦争と国際刑事法」(日本語)
 - 参加者：30名
- 中部支部
 - ・2022年9月28日：2022年度総会に向けた幹事会をZoomで開催
 - ・2022年11月27日：総会・会員懇話会・懇親会をKKRホテル名古屋にて対面形式で開催した。
 - * 懇話会では、(話題提供)玉井秀樹氏(博士)(豊田合成株式会社新価値開発部勤務、在外研究当時は岐阜大学ポスドク)に、「ドイツ ブラウンシュヴァイク & ゲッティンゲンでの留学経験談(生活、旅行と研究)」というテーマで話題提供をしていただき、その後懇談をした
 - ・2023年度も、秋くらいを目処に総会を開催したいと考えている。
- 関西支部
 - ・2022年10月23日 関西支部講演会(オンライン)
 - 講演者：原田英美子先生(滋賀県立大学)
 - 講演題：「ライプニッツ植物生化学研究所で過ごした3年間」
 - ・2023年2月19日 関西支部理事評議委員会
 - ・2023年2月19日 関西支部講演会(ハイブリッド)
 - 講演者：山本敬三会員(京都大学大学院 法学研究科教授)
 - 講演題：「比較法学における日本法及び日本法研究の意義」

司会：高山佳奈子会員（京都大学大学院 法学研究科教授）
ファシリテーター：守矢健一会員（大阪公立大学大学院 法学研究科教授）
参加者数 33 名（うちオンライン参加者が 22 名）

- 中四国支部（坂越支部長）
 - ・支部会報の作成を計画。
- 九州支部
 - ・2023年3月1日18時30分から講演会・総会（オンライン）を開催した。
講演者：河野俊行会員
講演題：「ノートルダム大聖堂の現在—その価値、被災、再建」
参加者：7名。

(7) その他

- 縣副理事より、次回の Zoom 講演会について、下記のとおり報告があった。
 - ・主催：本部主催（北海道支部の企画）
 - ・日時：7月8日（土） 15:00-16:00
 - ・講演者：Prof. Dr. David Wolff（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）
“2023年度 Forschungspreis” 受賞者
受賞内容：20世紀ロシアのアジアにおける活動の歴史
 - ・講演題：未定
 - ・司会：縣先生
 - ・使用言語：英語
- 縣副理事より、今後の予定について、資料3に基づき、岡林洋常務理事、高橋義人常務理事、および守矢健一常務理事による企画について提案、および岡林常務理事の趣旨説明を受け、審議の結果、下記の要領（本部主催、開催地：京都地区）で開催されることが承認された。
 - ・日時：2023年11月11日（土）14:00-16:00
 - ・開催形式：ハイブリッド形式
 - ・会場：同志社大学または平安女学院大学（調整の結果、平安女学院大学が会場となった）
 - ・その他：関係学会にも周知し、事務局とも適宜情報を提供しながら準備を進める。
- 事務局より、2023年2月11日に、フンボルト財団の依頼を受け、来日中の Muentefering 氏（ドイツ連邦議会議員）との日独学術交流についての意見交換を兼ねた夕食会（参加者：9名）を行ったことの報告があった。
- 伊藤理事長より、石井紫郎先生のご逝去（2023年1月17日）と西原春夫先生のご逝去（2023年1月26日）の報を受け、協会 HP に追悼文を掲載した旨の報告があった。さらに、両先生のお人柄などが偲ばれる追悼寄稿文の掲載、および寄稿者について検討し、寄稿者の人選及び寄稿依頼は本部が行い、両先生の追悼寄稿文を、協会 HP に掲載することが承認された。
- 次回の常務理事会（理事会の合同会議）の日程について

2023年6月11日（土）13:15～14:00
会員事務協議開催前にハイブリッド形式で開催することになった。

以上